

所在地 〒747-1221 山口市鑄銭司10447-25（山口営業所）  
TEL：083-985-1770

代表 木下 久雄

H P <http://www.genki-japan.co.jp/>

今月号では、株式会社元気ジャパンの木下久雄代表取締役にお話を伺いました。



### ●会社沿革

平成16年 周南市で前身の有限会社元気を設立  
平成29年 山口市鑄銭司団地に山口営業所を新築移転  
平成30年 岡山営業所を開設  
令和 2年 北九州営業所を開設、鑄銭司に山口南物流センターを開設  
令和 4年 有限会社から商号を変更し、株式会社元気ジャパンに

### ●トラック1台から拡大、山口から全国に荷物を届ける

株式会社元気ジャパンは、山口市鑄銭司のほか北九州や岡山などに拠点を置く運送会社です。主な事業は一般貨物輸送、各種産業廃棄物運搬、倉庫業の3つ。B to B（企業対企業）で工場間輸送や倉庫間輸送など、鉄骨や自動車部品になる鋼材といった重量物をはじめ、カップラーメンやジュースなどの食料品と幅広く、山口県内だけでなく全国に色々なものを運んでいます。

倉庫は鑄銭司にあり、山口営業所内と山口南物流センターの2か所を設けています。工場加工する前の原料や自動車部品などを預かって保管しています。

平成29年に大手企業が多く入居している鑄銭司団地に進出しましたが、高速道路からも見えますし、他社との差別化にもなって、良い宣伝になっていると思います。

元気ジャパンは、親戚の通信関連会社で、私がドライバーとして電柱を運ぶ仕事を担ったところから始まりました。私が会社を継いだような形で、現在は運送業だけが残っている状態です。トラック1台で始まったところから、現在は95台を保有し、従業員は100人以上の規模にまで成長しました。



山口営業所の外観

### ●社員に希望を、物心両面で幸せに



アイランドキッチンも設置された休憩室

創業して以来、ドライバーの社会的地位向上と生活向上を目指しています。「特別なことをしている」という意識はないのですが、ドライバーとして働き、会社を動かし始めた頃の経験を基に社員の働きやすさを考えた結果、福利厚生が充実した会社となりました。

最近の例では、男性社員から育児休暇を取得したいという要望があり、社内では初めての男性による育休取得となりました。これをきっかけに山口県が進めている「やまぐち子育て応援企業」と「やまぐちイクメン応援企業」に申請し、認定を受けました。

最初に一人で動いていたときは、休みなし、十分な睡眠もなしで稼働させていたので、子どもの運動会や参観日は参加できませんでした。いつの間にか大きくなっていて、成長を見られなかったのを悔やんでいるので、若手社員には家族のことや子どもの行事は大事にするように話しています。「後悔するぞ」と言って。

また山口営業所には、休憩所やジムなど設備もあります。休憩所には、かねてから欲しいと思っていたアイランドキッチンも設置しました。料理が趣味なので、お昼にカレーや芋煮を振る舞ったり、バーベキューを楽しんだりしました。年末には餅つきをして、大きな寸胴鍋でおでんも作ります。

そのほか従業員の誕生日に商品券を贈ったり、三大疾病にかかったら一定額が支払われる団体保険にも加入したりしています。万が一、罹患して出勤が難しくなっても、ゆっくり休める期間ができるので、安心して働けるようになるかと始めました。

業務の合間に疲れを癒せるよう「イノヴァスボディケアサービス」という出張マッサージサービスも取り入れています。腰痛に悩まされるドライバーさんは多いので、実験的に始めたのですが、だんだんリピーターが増えてきました。結果的に従業員の健康づくりに寄与できていると思います。



年末に振る舞うおでんを作る木下社長

## ●安心・安全に働ける環境を整える

ドライバーさんの募集をかけてもなかなか集まらない時代ですが、応募が立て続けに来るときもあります。山口営業所を新設した6年前の従業員数と比べると、倍増となりました。

人を集めるには、門構えを整えることが大事だと思っています。会社の顔になるような事務所を建てて、休憩室やシャワー室も整えました。男性社会の色が濃く、お手洗いが男女共同のようになっているところもあるなか、ちゃんと別々にするなどしています。



ウイングトレーラー

例えば、自動車に使われるコイルという大きな鉄の塊は倒れやすいので、スタンションという棒状の部品を荷台に取り付けて倒れないようにします。荷物を固定するためにチェーンブロックがかけられるフックを多くつけたりもします。掛けられるところが少ないと、追加でワイヤーを通して調整する必要があるためです。設備を充実させることで、荷物の積み下ろしの効率上がり、配送時間に余裕が生まれるなどの利点があります。

トラックに乗っていた経験があるので「この部分はこうした方がいい」と分かることもありますし、その都度ドライバーさんの要望を聞いて実装するようにしています。

従業員が以前勤めていた会社での話を聞くと、不具合を申し出てもなかなか対応してくれなかった、必要なものを買ってもらえなかった、ということもあったようです。輸送中に故障すると、タイムロスになり取引先にも迷惑がかかってしまうので、仕事のためにはお金を惜しまず、修理に必要な道具はちゃんとしたものを整え、少しでも異常を感じたような話があれば、すぐに修理を手配するようにしています。

ドライバーは安全に仕事をしようと思って伝えてくれていることだと思うので、管理者には「忘れていた」と簡単に言わないように、そういったことをきちんと聞き入れるように伝えています。



山口営業所の事務所

また、トラックにも乗用車と同じようにグレードがあるのですが、当社では一番良いグレードのトラックを購入するようにしています。車に乗っている時間が長いので、働きやすい環境を整えるという意味で、大体4年で買い替えるようにしていました。今は台数が増えたので難しくなっていますが、新車に乗ることができるサイクルは早いです。

仕事をしやすい車両や安全に荷物を運べるかどうかは重要なことなので、荷物を運びやすい仕様にするようにしています。積み付けがしやすいようにされているかいないかで、作業時間が変わってくるためです。

## ●塗装・架装・車検なども自社で対応可能に

山口営業所を新設したタイミングで、車両の塗装、板金、架装、カーラッピング、などを手掛けるグループ会社「ファーストスターカンパニー」も始動させました。専属のデザイナーによるラッピングのデザインや壁面に設置するような大型サインの作成、ロゴ作成も可能です。大型プリンターでの出力まで一貫してできます。

昨年には自動車の点検・整備に必要な認証工場の許可も取得しました。元気ジャパンでは約100台のトラックを所有しているの、グループ内で車検や点検ができるようになり、コストカットに繋がっています。



ファーストスターカンパニーの作業ブース

## ●「物流の2024年問題」対策で新拠点、新たなビジネスチャンスも狙う

働き方改革法案でドライバーの労働時間に上限が課されることで生じる「2024年問題」がありますが、その対応として2024年に愛知県あま市に新たな営業所を設ける予定です。岡山県にも営業所があるので、営業所間で中継することで法令を順守できるようになります。

あま市では新たに作られる物流団地に進出するのですが、最近ようやく同市の市議会を通り、着工に向けて動けるようになりました。来年3月頃には完工すると見えています。いずれはそこに物流センターも建てたいと考えています。

また、岡山県の倉敷にも配送拠点を設けたいと思っていますのですが、ひとまず情報センターを設置しようと計画しているところです。倉敷市の水島地区には工業団地があり、重要な物流拠点になります。やはり現地に拠点があれば荷物の情報などの収集にも差が出てくるので、新規開拓のためには大事なことです。

広報面ではYouTubeでの動画配信をしてみようかと検討中です。ドライバーをしながら動画投稿をされている方は結構いらっしゃる、それが採用に繋がっているところもあるようなので、実施したいですね。

何かやろうと思っても人がいないとできないわけですが、必要なときに必要な人材が集まってくるように、良い出会いがありました。今後も社員が希望を持てる会社を実現していきたいと思っています。